

「寒河江市学校施設整備計画」地域説明会 質疑応答

会場：西根小学校 体育館

日時：令和4年6月1日（水）19時30分から21時00分

参加人数：31名

出席者：教育長

学校教育課長（兼）学校再編整備室長

学校再編整備室 学校再編整備係主任

（質問者）

私は西根地区に住んでいるのですが、移住者なので地域のことがあまりわかっていなかったもので、三泉の説明会に参加させていただき、その際に資料の差があって手元の資料で確認できないので、資料がほしい、ホームページに掲載してくださいと伝えたのに、同じ少ない資料だったので、意図的に少なくしているのかなと思わざるをえない。

（学校教育課長）

ホームページにアップすると回答させていただいて、今日お持ちするとは言ってなかったと思います。

(質問者)

昨日の時点でそういった住民からの声があって、今日一日準備する時間があったのに、説明資料を準備するのが誠実な対応だと思います。今の説明では、理解しにくいところが何点かあって。1月に行われた地区説明では何人参加されたのでしょうか。説明会が行われていたことすら知らなかったなので、教えていただきたいです。

(学校教育課長)

資料については意図的に忘れたわけではなく、早急にホームページにアップしたいと思います。説明会の参加人数は、10数人くらいの参加だったと思います。

(質問者)

小学校統合については、最終的に3校に統合するのはいたしかたないのかなと思います。ですが、中学校1校にする令和10年ですね。時期尚早でないかと思います。まわりの保護者に聞いてみたところ、中学校は1校というのはねえという意見がすべてでした。中学校の統合を2028年に決めた理由、保護者の反対があるのなかで計画の見直しがあるのかどうかについて教えてください。

(学校教育課長)

中学校の1校案については、あり方検討委員会では1校案と2校案が併記されたところでした。資源の集中、子どもたちに共通の教育機会をとということで1校案にしたところです。

（教育長）

生徒数の偏りという説明をさせていただきましたが、1校案、2校案それぞれいい点と課題となる点があると思います。もう1つは、校舎の老朽化ということで、陵東中学校は50年をこえており、陵南、陵西も老朽化が進んでおります。修理が必要であったりとか、使い勝手が悪いところもあります。そういったことも考えたときになるべく早く子どもたちをいい環境で学ばせたい。そのときに、あり方検討委員会でも2校案、1校案を検討して、議論したが決められなかった。教育委員会でもいろいろ検討しまして、さきほどの資料にもありましたが、令和13年度には陵東、陵西学区の子どもたちをあわせた数が、今の陵東中学校と同じくらいの人数になります。そのあとも子どもの数が減っていくことが想定されます。そうしたことを考えたときに学校を2つ作って、10年、20年で使われなくなるのは問題かなと思います。いろいろ考えて、寒河江市のこれからの子どもたち、こういう子どもたちに育ててほしいという、中身についてはご意見を伺いながら検討してまいりますが、そうした時に、1つの学校でいらないいい環境で学ばせたい、子どもたちに力をつけたいことで1

校という決断にいたったということです。

（質問者）

中学校の統合を令和10年度に決めた理由が今の説明で曖昧だったのですが、施設、中学校を新しく2校作らなければならないというハード面の理由でしょうか。

（学校教育課長）

2校を作る、作らないという財政的な面も1つの理由になるかと思えます。

（質問者）

1校止むなしという理由は伺ったのですが、人数が、令和10年983人ということですが、中学校の人数が、3で割ると33人、さんさんプランのマックス人数で考えると、1学年10学級、学級数30くらいになるかと思いますが、これについてはどのような対応をお考えなのでしょうか。

（教育長）

今、おっしゃられたとおり、統合時は1学年10クラスくらいになる想定であります。そこから人数も減っていくわけですので、クラス数

も徐々に減っていくかなと思います。今の学校ですと壁をがっちり教室という形で作るわけですが、これからの学校を考えたとき、壁を動かせるような形で、教室が10クラスあったのが8クラスになったときに教室を広くするとか、空き教室も利用することを考えて、学校を作っていかなければならないと思います。大きな規模になると人数が増えるわけですが、1学級の生徒数は、大きい学校でも県の施策では33人が最大ということですので、授業の中で、先生方、学級数が多くなると教員数も多くなるので、授業の中でもメインの先生とサブの先生で、チームティーチングの授業をやったりとか、例えば、数学については、2つのグループに分けて勉強したりなど少人数指導がしやすくなると思います。

（質問者）

生徒が減ってきた。これからも減るということで統合案がでてきたということかと思いますが、白岩、醍醐、高松地区、陵西中の学区の生徒の減少が非常に大きい。市の説明でも2009年と2019年の生徒数の変動を見ると全市的には14%なのに、陵西地区は33%減っているというデータを出している。かつて5校あった小学校が今は3校になっている。醍醐小に行って、陵東中跡地に行くということのようですが、なぜ陵西地区の減少率がとくに大きいのかを考えていく必要があると思います。私の考えでは、かつて白岩には市

役所の出張所があった。それを無くしたのです。無くすなという強い反対があった。白岩出張所を無くした。事務手続きが大変だから無くすなという強い意見があったのに、それを無くした。小さい団地を作ったことはあるが、みずき、ほなみ団地のような大きな団地を作る計画を寒河江市は示さなかった。それから一番大きかったのは下水道です。日田の処理センターに直結する下水道の本管を八俣にも白岩にも敷設しなかった。下水道の本管、正式な水道につながらないということで、家を建てるに、できれば上水道下水道管完備しているところに住みたいと。これは教育委員会が直接関わったわけではないが、陵西中学校の生徒数の減少の理由を考えていく必要があると思います。検討委員会でいろいろな議論したと思うのですが、検討委員会がどういう考えかをお聞きしたい。それから、中学校の1校案について、検討委員会の資料を拝見したが、第8回の検討委員会で、寒河江市の中学校3校を1校にするという案に賛成した委員は3人しかいない。委員は17人いらっしゃいますけど、賛成したのは3人。どちらとも言えないが6人だったと書いてあります。あとの人はどのような意見かわかりませんが、いずれにしても、1校案よりも2校案の意見が多かったそうですね。1校案は少数意見だったのですね。そのところをはっきりしてください。なぜ、検討委員会で1校案に賛成した人が非常に少なかったのに、最終的に教育委員会は1校案を出したのか。どこでそうなったのか。さきほど教育長が検討委員会の答申を受

けたと説明されましたが、1校案という案を答申したわけではないですね。教育委員会が独自の判断でそういう案を出したのか、そのところをはっきりしてください。なぜそうなったのかわからない。市長が言ったのか、教育委員会のみなさんが集団合議したのか、検討委員会では少数意見だったけれども結論を出したのかそのところがわからない。それから、新中学校の用地、今年度中に用地を選定するのですか。ちょっと性急過ぎるのではないか。今年度中に本当に決められるのですか。1,000名をこえる中学校を建てると考えると校舎、体育館、グラウンド、私が一番思うのは駐車場です。PTAの総会、PTA行事があるときに、山奥から車で来るわけでしょ。そうするとかなりのスペースの駐車場が必要です。今の陵東中の行事を見てみると、陵東中はあまり駐車場がないから、合同庁舎の駐車場を借りてやり繰りしてきた。どこに建てるかわかりませんが、おそらく100、200台くらいの規模の駐車場を用意しなければならない。おそらく5ヘクタール以上の広い土地を確保しないと新校舎は建たないと思いますし、4万人規模の市で中学校を1つにする計画を持っている市はないと思います。東根は5校でしょ。財政的なこともあるのかもしれませんが、まだ統合すると言っていないですね。東根は。村山も2校で。1,000人規模、1学年10何クラスまでであると自分の教室の生徒くらいしかわからない。いじめ、不登校、いままで統合した学校、必ずそうした問題が起きました。2校にすると財政的負担

が大きくなるのはわかります。けれども、陵西と陵東を統合して1つ、2校案にするのが妥当だと思います。市民の多くがそういう意見をもっていると思うのですがいかがでしょうか。検討委員会、パブリックコメントを募集した、今日のような説明会、町内会の回覧板にはさまってきた。これからの寒河江市の行方を決める非常に大事な4万市民に全員に関わる問題だから、今日みたいな会議は、案内を全戸配布して、最終的に4万市民の意見を集約して、住民投票やっているところもありますが、それくらいの重要な課題ですよ。小学校もどういう手続きを踏むのか。今年度中に用地を決めることに本当になるのか。以上。

（学校教育課長）

統合案については、答申では1校案、2校案併記になった。どちらかには決められない。用地選定は、今年度中の計画になっておりますが、検討委員会を立ち上げ、候補地の選定をこれから進める予定です。今年度中に選定できる方向で進めておりますが、計画ですので、そのとおりいくかわかりませんが進めているところでございます。駐車場ですが、用地の関係については、駐車場等考えておりますので、そうしたことも含めて用地の選定をしていきたいと思っております。西部地区の人口減少についても、まちづくり観点から大事だと思いますし、教育委員会としてこれだという理由は持っていないということです。

(教育長)

統合したときのいじめについて、かつて陵南中が統合したときに荒れたというのは事実です。しかし、統合したから荒れたということも要因としてあるのかと思いますが、小さい学校でも同じことがあった。そういったことが起こらないように対応しながらやっていくということが大事だと思います。いじめに関しても、職員の数も多くなるので見る目も多くなります。荒れるときは、子どもたちのストレスがたまって、いじめにつながるということがある。子どもたちのストレスの低減も大事だと思います。今の学校は子どもたちにとって窮屈な部分がいっぱいあるわけです。ですから、さきほどの写真にもありましたが、新しい学校では、子どもたちが座って話ができるスペースを確保するなど、子どもたちのストレスを軽減することも考えていきたいと思います。

(学校教育課長)

今後の進め方についてですが、こうした説明会を実施しながら、いろんなご意見をいただいて検討したいと思います。

(質問者)

醍醐小、高松小、白岩小の3校を統合後の小学校は、教室的にはどう

なるのか。中学校の給食はどうなるのか。給食室を作る予定はあるのかどうか。

（教育長）

3小学校を統合しても人数的には1クラスなので、教室的には大丈夫です。

（学校教育課長）

中学校の給食については、センター方式でやっておりますが、今後、自校方式にするのか、センター方式になるかは、今後検討していきたいと思います。

（質問者）

中学校合併、用地選定、その他について、いつ選定が決まったといったことについて、住民へのアナウンスがいつなのか教えてください。通学に関して、スクールバスと考えたときに、スクールバスなど住民への負担はないかの確認です。

（学校教育課長）

用地選定については、庁内で候補地選定委員会などありますが、土地の関係なので途中経過はなかなか公表できるものではないと思って

おります。

（質問者）

決まったときにいつのタイミングで、どのように公表するのか。

（学校教育課長）

今年度中の用地選定を目標としておりますが、決まったらアナウンスしたいと思っています。

（質問者）

どのように。

（学校教育課長）

ホームページとか、市報などで公表したいと思います。

（教育長）

通学は1つの大きな課題と認識しております。例えば、中学校ですと3年生の部活動が終わったあとは、授業が終わって1、2年生が部活動をやっているなど時差ができるわけですが、保護者の方に迎えにきてもらうことがないように対応してきたいと思います。

(質問者)

費用負担はないのですか。

(教育長)

ないようにしたいと思っております。公共交通機関を利用など、場所によりますが、負担がないように頑張っていきたい。

(質問者)

そうですね。自転車で通学できる範囲なのが、今まで負担がなかったところに対しては、検討していただきたいと思います。

(質問者)

説明の中で素晴らしいところばかりで、こんなに素晴らしい学校で何も起きないのかなと、かえって不安がよぎるような感じがしたのですが、少人数学級ではなく大規模校にしても素晴らしい教育の見本かと思うのですが、寒河江市の場合は、寒河江市全体で子どもを増やそう、子どもの健全な育成のために様々な取り組みをしてきたと思います。給食の無料化ですとか。子どものための施策をやってきたと思います。それが少人数だから学校を大規模化する、合併して統合するという話になると、住民は学校とか、医療とか、交通が便利なところに新しくすみつくということがあるわけで、みずき団地、陵南中

学校あたりには非常にたくさんの住宅地ができています。大きく言えば、まちづくり全体の観点かなと思います。西部地区が過疎化していったというのは、さきほど話にもありましたが市役所の支所が無くなったことが大きな原因であったと思います。あの頃は、支所を無くすということで危惧をした覚えがあります。白岩は、商店街がずらっと並んで賑やかなかところでした。それが、支所がなくなり、下水道も普及していないということから、住みつく人がいなくなり、子どもの数が少なくなったということがあると思います。ですから、子どもの数が少なくなったから統合して小規模を大規模にするということだけではだめなのではないかと思います。まちづくりそのものとして考えていかなければならない問題だと思います。これからいろいろ検討されるということですが、市民の皆さまから出た意見を総合的に勘案して、見直しがあるということも考えてよろしいのでしょうか。このままの状態でもどこまでも進めていくということなののでしょうか。それをお聞きしたいと思います。

(教育長)

おっしゃられた通り、まちづくりとの関わりで考えていかなければならないのはそのとおりだと思います。答申の中でもまちづくりの大きな枠組みの中でということもありますし、今後、市としてどう地域を活性化していくかというのは重大なことだと思います。学校の

説明会についても、いろんなところでご意見を伺っております。この計画は手続きを経て作ったわけですので、計画については、教育委員会としては進めていく方向で考えておりますけれども、こういった意見が寄せられているわけで、これからも説明会で出た意見を十分吟味していきたいと考えております。

(質問者)

いろんな心配がありますが、子どもたちの通学について心配です。登下校のバス、何本くらい出すつもりですか。それとも朝1本夕方1本、中学校の部活動なんかは大変だと思います。仕事もしてらっしゃる方が多いと思います。どこで待っているのか。教室で勉強してればいいのかと思いますが、冬、雪降ったら、自転車で通う学生もいるかもしれませんが、山間部など大変じゃないかと、それが一番心配です。

(教育長)

通学が大きい課題だと思っております。冬の間、いまでも保護者の方が送迎してくださる場合が多いです。学校では歩いてくるように指導しておりますが、なかなか徹底されない。中学校の周りで朝のラッシュの時間帯など、交通事故が心配ですし、帰りもちょっとしたスペース、自動販売機前などで帰りを待っている。自動販売機で買おうとしている人が買えなくて不便だという声が学校に寄せられました。

登下校については、安全面や周辺へのご迷惑がかからないようにだとか、そのあたりを十分考える必要があると思います。

（質問者）

もう一つ。1本だけでなく、その地域の実態にあわせて2本、3本出しているのか知りたいです。

（学校教育課長）

実態にあわせて検討させていただきたいと思っております。

（質問者）

心配なのが、統合を2回することが気にかかります。中学校を1つにするところも疑問ではありますが、西根と令和8年、6年でかぶる子がいないとおっしゃりましたが、保護者は、兄弟がいた場合、PTA、先生が全部変わるのを2回繰り返すのは、子どもたちにとっても保護者にとっても負担が大きいと思います。三泉の説明会に参加したときに、三泉地区は寒河江学園も一緒に育てているのだなと感じました。そう言ったことを大事にすることで、寒河江市の人口が増えることにつながっていくのだなと思います。資料の中で紹介していただいた事例が少人数の福井県の小中学校で広いスペースは人数が少ない状態での事例でしか紹介されていない。人口4万人の市で、中学

校を1校にするのはどういった自信があって成し遂げようとしているのか。あと、陵南地区のように自然発生的に人口が増加しているそういった地域もありますし、移り住んでいる地域と、今回の統合で人数だけそろえてマンモス学校というのはあまりにも違いすぎて、人数が多いことが悪いとは思わないのですが、デメリット、メリット両方あると思うのですが、もう少し対話をしなければならないのに一方的に、南部、中部の方も統合は検討であるのにこちらの地区は確定というロードマップで進んでいるときに、変えることができるのか、検討していただくことができるのかお聞きしたいです。

(教育長)

昨日の説明会でご指摘があったように、今の小学校2年生の子たちが小学校で統合を経験して、そのあと令和10年度に中2になるときに統合を経験する年代になっている。負担が大きいのではないかとありました。我々も大きな課題であると認識しております。あとは、大きい学校についてですが、今は、学校の人数が少なくなっているのに、900人を超えるというのは、大規模校であります。30年くらい前の河北中学校は960人をこえている生徒数でした。そのときの河北中学校に勤めておりましたが、学級数は8、9、9クラスでした。大人数の中であったのですが、活動がダイナミックに出来たり、子どもたち同士の交流ですとか、良い点もいっぱいあると思います。

1校統合ですと令和10年には980人くらいになりますが、そこから減っていったら、令和14年度には、900人をきる人数になっていくというわけです。ずっと900何人でそこから1,000人になっていくということなら、2校の方がいいと判断するのですが、これからだんだんと生徒数も減っていく、そうしたことも考えながら中学校を1校でというふうに考えたわけです。さきほどの写真は、最近のところであったので、400人くらいの例を出しましたが、今日、私は山形市立商業高校で県の会議がありまして、今年の4月に新しくなりました校舎見学をしてきました。840人をこえる学校ですが、施設的にいいなと思いました。このような施設で子どもたちを学ばせたいなという思いで見えてきました、子どもたちが通いたくなる学校、そうすることによってストレスも少なく、いじめの防止などにもつながっていくと考えているところです。

(質問者)

返答ありがとうございました。大きくなったことで40年前に統合を経験されたということですが、40年前と今現在、教育方法も変わっていますし、子どもたちと大人との距離感がだいぶ違うと思います。おっしゃったような教育ができるのか。人数が多くなることで、地域と保護者の関わりが薄くなることについて、どのようにお考えですか。

(教育長)

学校もいろんな媒体、SNSとかも使いながら学校の様子もお知らせしますし、保護者の方との関わりが大規模だから少なくなるということはないと思います。今、こういうふうなコロナの状況で、学校に集まって何かやるということがなかなかできない状況ですが、保護者との合同のレクリエーションなども、かつてやっておりまして、それは900人規模の学校でも出来ましたし、そうしたことも入れながらやっていくということだと思います。前半部分の昔と今の子どもたちが変わっているのはそうだと思います。しかし、今の子どもたちにどういう力をつけていかなければならないかを考えながら、寒河江の子どもたちを中学校、最初は大規模になりますが、そこで育てていくということに1つの意味があると思っております

(質問者)

素朴な疑問ですが、寒河江市の統合をまとめるという話の最初に説明いただいた、児童数の減少、学校施設の老朽化、施設の老朽化はわかるのですが、児童数の減少、年々減っていきますという試算は本当ですか。寒河江市のホームページを見ると、寒河江市は子育てに本気です。安心して、結婚、出産、子育てができる環境づくり、将来を担うさがえっこの育成に力をいれていますとあります。子ども育てる

立場としては助かっているところがあって、取り組みを気に入って移住してくれたりとか、私も都内で働いていて、こっちに戻ってきた人間ですが、人口が増えて、活性化していこうというメッセージだと思っうんですね。減っていく前提の試算は後ろ向きで変だなと。どっちなの。寒河江市としては増やしたいのですよね。そのための取り組みをどんどん続けていくし、市の予算をあてていこうというプランでいるのに、人が減っていく前提の配分は、どっちなのだろうと思う。矛盾しているというか気持ちが悪いなと思います。

（教育長）

ありがとうございます。寒河江市は人口を増やしたいというのはそのとおりですし、例えば給食費の無償化も県内で2番目にやっておりますし、子どもの医療費の無償化とかいろんな施策をやっております。現実的に、令和3年度まで生まれている寒河江市内の子どもたちの数は住民台帳とかでわかるわけですが、それを見ても残念ながら増えてはいないという状況です。例えば、学校も古くなってきております。陵東、陵南は50年をこえようとしている。そういったところで、みんなが通わせたいなと思うような学校を作っていきたいということでこういう計画を考えたところです。この資料的にはご指摘のとおり矛盾するところもありますが、私たちも子どもたちの数が増えてほしいなということはあるんですが、実際にはそ

うなっていないという現実があるということだと思います。

（質問者）

わかりました。

（質問者）

中学校の3校が1校になるということで、もう1回確認ですが、用地選定の段階でアナウンスがあるのでしょうか。用地買収が完了してからアナウンスがあっても後戻りできないだろうと思います。用地選定の段階で説明があるのか、あとは新校舎がどのようなになるのか。人多くて心配だねということだと思います。校舎がどういう規模になるのかが肝になってくると思います。1,000人規模に見合う校舎になっているのか、用地になっているのか。説明があるのかどうか。必ずあるのか。住民と議論して地域ごとの説明会も大事だと思っています。現時点では、良いも悪いもわからない。

（学校教育課長）

用地選定、買収前にですか。

（質問者）

そうです。

（学校教育課長）

どの段階で公表するのか、今ははっきり申し上げられない。庁内でも検討します。

（質問者）

用地選定の段階で住民に説明があってしかるべきかと思います。

（質問者）

昨日も住民の方からでたと思うのですが、学童がどうなるのかハートフルセンターが担当だからお答えできないとあったのですが、西根の方も学童もどうなるのかわからないということですか。

（学校教育課長）

担当の方に検討してもらっております。

（質問者）

平日の夜に明日も仕事があるなかで、みんな来られてないと思います。学童が学校につながっている存在なので大切に考えていただきたいです

(学校教育課長)

ありがとうございます。